
カミング・アウト

AzURe

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カミング・アウト

【Nコード】

N2362A

【作者名】

Azure

【あらすじ】

仲が良いから、伝えられない。だけど変わりたいんだ！！！そして今日もアタシのカミングアウト作戦が、始まる…。かならず、どこそこ、言ってみせるっ！！！！そんな、放課後。

ああ、この気持ちをカミング・アウトしたら
君の顔ってばどうなるんだろ。

「クロー、なにしてるのー」
「クロって呼ぶなよ。」

眉間にしわを寄せて話す君
めっちゃ面白いけど、めっちゃ素敵。

「シロこそなにやってんだ？笑」
「自分だって呼んでるじゃんかよー！！！」
「お前がクロって言ったから。」
「アタシは小雪って名前ですから、それで呼んでください。」
「…（何で語尾が片言なんだよ。）」

・・・だめだ。つい片言になっちゃった。
しかも勢いだけで小雪って呼んでくださいとか言ってるし…

「…なんか反応してください。」
「…ぷっ」
「いやいや、笑うなよっ！！！」
「反応を求めたのはお前だぞ、こ・ゆ・きw」
「…キモ…」
「何っ！！！！？俺今すっげえ頑張ったんだぞ！！？」

また失敗だぁ…

今めっちゃキュン死に（ヲイ）しそудだったくせに心にも無いことを…

アタシってば、バカだ…。

「知らない。」

「…そーですか、そーですか。なら俺はお前をずっとシロと呼ぶことにするからな。」

「……………！！！！！！？」

「反応遅「黙れ」」

「コワーーー（笑）そんなんだから彼氏できねえんだぞー？」

「…………イタイとこ突かれましたっ

わぁー、なんかめっちゃ悔しくなってきたぞー。

このまま勢いでなんか暴言吐きそудなあ…………

「うつさいよ、このへたれが。」

「へたれじゃねえし！！！！人並みに付き合ったことぐらいある！！！！！」

「…………そうだよ、へたれはあたしだよ。」

「…………は？」

今アタシなんて言った！！！！？

自分で自分のことへたれとか言っちゃったし！！！！笑

「シロが壊れたぞー……笑」

「壊れたないから！！！！！」

「噛んでる、噛んでる（笑）…………シロは面白いわ、やっぱり！！！！」

そっいつてあたしの頭をいつもの通りにくしゃりと撫でる。嬉しい

んだけど、嬉しくない。

こいつはきつとアタシをダチ（いや、妹？）としか思っていないだろうから。

「・・・こんなんなるのはクロの前でだけだから（小声）」

「ん？なんかいったか？」

「なにも、言つてません！！！！！」

「そっかあゝゝ、俺はてつきり愛の告「死にたい？」

「いえ、丁重にお断りします ; ; ;」

ほら、まただよ。結局素直になれてないじゃんか。

今日もまた言えずじまい。カミング・アウトはまださきかあ・・・

「まあ、お前が言わなくても俺が言っけど。」

・・・・・・は？

「小雪、好き。」

・・・・・・え？

「なんか言え。恥ずかしいから。」

この人、先にカミング・アウトしやがりましたよ？！
しかも、アタシが言おうとしたことを！！！！！！

「おい、シロ、何とか言え！！！！！」

「・・・・・クロってば、脈絡ないよね。」

「・・・・・は？」

「だけど、そんなところが、・・・・・アタシも好き。」

言ってしまった…。

先にあっちが言ったとはいえ、言ってしまった…

「なら俺たちは晴れてカップルとなった訳だ。」

「そうだね、クロ。」

「だからもうクロって呼ぶな、きちんと愁って呼べよ?」

「やだ、めんど」「一回間違えるたびキス一回な。」

「何!!!!?」

「俺はきちんと小雪って呼ぶぜ?」

「わ、わかったよ……愁……。」

自分でもわかるけど、顔絶対赤いわ。

間違えるたびキスって!!!!!!（嫌じゃないけど恥ずかしい!!!!）

「よし、オツケ。良い子だからごほーびなw」

ちゅ

「なにさらすかああああ!!!!!!」

「ごほーびだよ、ごほーびw」

こんな勢いでファーストキスまで奪われた…

なんだ、これ……。

結局、全部君から。

胸に秘めた思いのカミング・アウトも、キスも。

でも、間違い無く

どんなものよりも

嬉しいカミング・アウトでした。

カミング・アウト Fin

（後書き）

久々の投稿でございます、A z U R eです

いかかでしたか、この作品は？なんか、思いつきで書いてしまいました〜笑

現実ではないことかもしれないけれど、こんな恋もしてみたいなんて思ってくれたら嬉しいですw

また、前回作で指摘があったように、男の子の口調には注意したつもりです!!!!

これからはバンバン投稿していきたいですねw

感想・批評をお待ちしています!!!!

では、また

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2362a/>

カミング・アウト

2010年12月1日23時50分発行